

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 41 号	2004年12月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：西原 一誠
---------------------------	-------------------	---

1. 一年を振り返って

原田賢治

平成16年も残りあと数日とさしせまってきました。会員の皆様には、新しい年を迎える準備等で何かと忙しい此の頃と思います。

この一年皆様には、会の推進に多大なご協力とご指導を戴きました。人の力と和のすばらしさを感じております。有難うございました。夏ごろまではお天気に恵まれ順調に進んでいたいろいろな事が、8月の終わり頃から再三の台風の影響を受けとくに作物等に大きな被害を受けました。観察隊の子ども達と共同で種まきをしたソバ栽培も、度重なる降雨で発芽せず全滅になりました。又、稲も穂が出て実りの時期に風台風の被害を受け収穫も平年の60%と最悪でした。(平均240kg今年150kg)来年に期待しましょう。

この会も発足以来5年目を迎えました。会員相互の協力と汗の結晶が大きな目標に向かって羽ばたいております。2年前の環境大臣の表彰に始まり多くの団体、グループ、個人の視察や見学におとずれて下さった皆さんに感動を与え、私たちの取り組みに期待されている事と思います。これからも、それに答えてゆきたいものです。

先日、ビオトープで水辺や周辺を見渡していると、今年は暖冬のせいかわ冬眠中の動植物も少しずつですが活動しているようです。きっと春に向かって体力作りをしているのでしょう。 私たちも今のうちに体力、気力を養い、新年からの活動に備えておきましょう。

補修、補植も計画されています。風倒木を活用して観察道のかけ替え、補修、又絶滅危惧植物も数種類繁殖しているようです。大事に育てたいものです。

新しい年を迎え、初心に帰って、会の発展に皆様の大きな“力”を貸してください。皆様良い年をお迎えください。

2. 活動報告(事務局 記)

11月27日(土) 宇部地区健康福祉センター主催 厚東川、有帆川、厚狭川環境学習会
今井会長、田村会員、美濃和会員にて説明案内をされました。

12月3日(金) 餅つき準備(洗米、ダイガラ運搬、会場作り) 11名の参加

12月4日(土) 収穫祭 part-1 餅つき。参加者は、里山自然観察隊隊員及び保護者会員24名、二俣瀬子ども会保護者含み38名 小学校校長先生、教頭先生、先生含み3名、会員25名ほか車地会員奥さん4名 全参加者94名でした。

12月5日(日) テント等撤収 8名参加

12月9日(木) 水田、蕎麦畑の荒起こし

12月14日(火) 江汐公園から風倒木の運搬をしました。中国電力〔株〕の重機ほか7名のボランティア活動助勢があり会員9名で軽トラック7台にて90本近い木を運搬しました。

来年ははじめから湿地帯の橋の補修に利用させていただきます。

12月16日(木) 竹炭火入れ北村会員、原田マ会員

12月18日(土) 収穫祭 part-2 竹炭焼、蓮堀で里山自然観察隊員とその保護者や小学校の校長先生、生徒十数名が体験され、又会員の水車年末清掃ほか忘年会で焼肉パーティを行ないました。会員29名の参加でした

12月20日(火) 竹炭2回目の炭だし作業 原田マ

3. 今後の予定（事務局 記）

見学者

現在のところ予定者は有りません

行事

12月26日 蓮田の腐葉土まき、整備ほか“あざさ”の移植

1月4日（第一日曜日）休みです

1月17日（第三土曜日）新年初参集日

4. ピオトープ関連（ピオトープ周辺の植物） 美濃和 信孝

紅葉するツツジのなかま

今回は12月18日に昭和山山頂で見つけた紅葉するツツジのなかまを2種類ご紹介します。

ネジキはツツジ科ネジキ属に属する落葉小高木です。アカマツ2次林に多く生育します。成長した幹は樹皮が縦に裂け、それがねじれているのでネジキの名前の由来となっています。材もねじれていて、細工物には使えない、ということです。若い枝は光沢のある赤褐色できれいです。花は5月から6月にかけて白い壺状の花を一行に多数下向きに付けます。葉は薄く、波打っていることが特徴です。昭和山の周辺には今の時期、紅葉が目立つのでこの木がかなりたくさんあることがわかりました。若葉は有毒で、嘔吐や運動麻痺を起こすそうなので口に入れてはいけません。

もう1種は1本だけ昭和山の山頂にあった初めて見る木です。調べたところシロドウダンらしいのですが、確信は持てません。葉が茎に束生すること、赤くきれいに紅葉していることで、ドウダンツツジの仲間であることは確かですが、同じ仲間に花色が赤いベニドウダンという種類もあるので、花時期まで待たないと種類の確定はできません。ドウダンの漢名は、「満天星」と書きます。これは、昔、仙宮で太上老君が霊薬を練るうち、誤ってこぼした玉盤の霊水がこの木に散って、凝って壺状の玉になり、まるで満天の星のように輝いたという、中国の伝説にちなんでいます。ドウダンツツジはその話の通り、白い壺状花を散らしたように付けますが、シロドウダンの方は、房状に垂れた花穂を付けます。来年の花時にはどんな花が咲くか、楽しみに待ちましょう。

九州・雲仙の地獄谷には、天然記念物になっているシロドウダンの群落があるそうです。硫化水素ガス、地熱、強酸性の厳しい環境にも耐えうる植物で、ネジキも同じように生えているそうです。昭和山の山頂がそのように厳しい環境だとはちょっと思えませんが、なぜかこの2種類の木がありました。



ネジキ（ツツジ科）



シロドウダン（ツツジ科）

5. ピオトープ関連 (会員の声)

前回の著者の名前がありませんでしたが、納屋 早与子 会員でした。失礼いたしました。お詫び申し上げます。今回は原稿が届いていませんので、休みます。

今回は 松本 フデ子 会員にリレーします。宜しく

6. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

11月27日(土) きょうへびをみました。

12月(日5日)寒いからもう来ない 2題ともそのほかの記述なし

12月18日(土)初めて竹炭というものを見た。今日は物が燃えるだけであったがあつたかくてとても良かった 岡村

12月18日(土)れんこんをほろうとしたらレンコンはなくて悔しかったです。校長先生に場所を教えてもらってよかったです。

12月18日(土)きょうすみつくりでれんこんをほった。けいけんをしてべんきょうをするみたいだが冬水がさむくて足が赤かい、手もそうだ。もうちょっとでほれたんだがつめたくて……(実は読めない)火にあたってなんとかさむくなくなった。

7. 会よりの連絡事項

(1) 脱会者のお知らせ

古富 制さん 二俣瀬区荒瀬 73歳 参加活動が思わしく出来ないため。古富さんは創設以来より活動されて橋げたのヒノキなど頂きました長い間ありがとうございました。

(2) 竹炭の製作体験する団体を募集しています。お知り合いの家族、団体個人でも結構ですお誘い下さい。寒い中講師や材料の費用は必要です。ただし価格についてはご相談に応じます。

8. 編集後記

今年も里山自然観察隊の行事は終わった。昨年は植物観察4回に対して、希望の多かった魚と水生昆虫の観察を2回に増やし、昆虫の2回と合せて計4回と自然を遊びまわる行事にした。更に今年は、里山の暮らしというテーマで、藁縄作りや竹馬作りに挑戦してもらった。自分たちの遊びの道具は自分で作るということを学んでもらえればと思ったが、皆さん結構楽しんでもらえたと思う。会の行事にも子供たちに参加してもらったが、田植え、稲刈り、餅つきとソバの種蒔きと竹炭作りで、昨年できたソバ打ちは残念ながら台風のためできなかった。これは来年楽しんでもらおう。また来年も子供たちを集めて里山自然観察隊をやろうと思っているが、会員の助けがなければできないことなので、ぜひ、暖かく見守るとともに協力して欲しい。それと何か新しいアイデアを出して頂きたい。子供も楽しみ、会員の大人も楽しめるような行事があれば、ぜひ、教えて頂きたい。よろしくお願い致します。 (西原 一誠 記)